

山梨県の広報誌

# ふれあい

特集号  
**冬**  
vol.63



山梨の新たなブランド魚

動画で  
見てみよう

## 「富士の介」初出荷

東京海洋大学名誉博士・客員准教授  
富士の介応援団長

さかなクン P8

東京2020オリンピック・パラリンピック

## 県民総参加で未来へつなぐ

東京2020オリンピック出場内定  
カヌースプリント競技  
男子カヤックフォア500m 代表選手

藤嶋 大規さん

動画で  
見てみよう



ナショナルチームの練習拠点、石川県小松市の木場潟カヌー競技場で練習に励む藤嶋選手



HOST VENUE

**TOKYO 2020**

オリンピック

自転車競技山梨県開催

オリンピック ロードレース

男子 2020年7月25日(土) 女子 26日(日)

オリンピック開催まで パラリンピック開催まで

205日 237日

(令和2年1月1日現在)

# 東京2020オリンピック・パラリンピック 県民総参加で未来へつなぐ

東京2020オリンピック・パラリンピック開催まで7カ月を切りました。山梨県では自転車ロードレースが開催されることもあり、東京の隣県であるという立地を生かして、これまでも機運醸成に向けたさまざまな取り組みを行ってきました。今回は、出場が内定した本県出身のアスリートの意気込みや、大会に向けてさらに勢いを増す県内各地の盛り上がり、この大会をきっかけに本県が未来へ守り継ぎたいものなどを紹介していきます。

## 県勢として初の出場内定!! 東京2020大会に懸ける思い

2019年8月にハンガリーで開催されたカヌースプリント世界選手権の男子カヤックフォア500メートルでアジア勢で最上位となり、山梨県勢で第1号となる東京オリンピック日本代表に内定した藤嶋大規選手。2大会ぶり2回目のオリンピック出場となる藤嶋選手から今大会に懸ける思いを伺いました。

### 集大成の舞台で最高のパフォーマンスを見せたい

私がカヌーを始めたのは、小学校4年の時です。兄の影響で、地元、上九一色村(現・富士河口湖町)のカヌークラブに友人と一緒に入りました。目の前に富士山を望む自然豊かな精進湖で、伸び伸びと練習し、高校2年の時にジュニアの日本代表に選ばれ、3年の時に国体で優勝するなど経験を積みました。そうした中で、いずれはオリンピックに出たいという思いが芽生えてきました。夢がかない、2012年のロンドンオリンピックへの出場を果たしましたが、今思うと、この時は出場できたということでも満足していた部分もありました。2016年のリオデジャネイロオリンピックの出場を逃した悔しい思いを晴らすためにも、東京オリンピック出場を目指してきたいのです。

東京2020オリンピック・パラリンピック代表  
**山梨県勢選手**

男子レスリング グレコローマン60キログラム級代表選手

**文田 健一郎さん** (オリンピック 初出場内定)

*Kenichiro Fumita*

1995年12月18日生まれ 韮崎市出身  
ミキハウス所属



写真:フォート・キシモト

**東京オリンピックで金メダルを  
最高の恩返しをしたい**

高校3年生の時に、東京でのオリンピック開催が決まってからは、代表になることを特に強く意識し、きつい練習も頑張ってきました。前回大会で代表になれなかった悔しさや、2018年にはけがをした苦しい経験をバネに、2017年と2019年の世界選手権では優勝することができました。特に東京オリンピックの代表を勝ち取った2019年の世界選手権では、今まで築き上げてきた自分のレスリングスタイルが通用したのがとてもうれしかったです。東京オリンピックで金メダルという目標をかなえるために、さらに精度を上げた練習を積み、準備をしていきたいです。ふるさと山梨の皆さんからの応援を力に、金メダルを取って最高の恩返しをしたいと思っています。

パラ陸上(走り高跳び義足T64)代表選手

**鈴木 徹さん** (パラリンピック 6大会連続出場内定)

*Toru Suzuki*

1980年5月4日生まれ 山梨市出身  
SMBC日興証券所属



**声援が溢れるホームでの試合が楽しみ  
生の姿を見てほしい**

過去5大会、パラリンピックに出場しましたが、最高順位は4位ですので、2020年の9月4日は「メダル」だけを目指しています。これまではアウェーという環境の中で試合をしてきましたが、ホームの日本でされる今大会は、時差や食事、暑さなど、慣れた環境で調整ができ、多くの日本の皆さんに応援をしていただきながら試合ができることは非常に楽しみです。きっと、手拍子の中でのジャンプは一生の思い出になると思います。

オリンピック選手は「身体」の限界に、パラリンピック選手は「心」の限界へ挑戦しています。山梨県民の皆さんには、ぜひ、アスリートの生の姿を見て応援していただきたいです。

今回は「男子カヤックフォア500メートル」で東京オリンピックの日本代表になりました。この種目は4人で二艇のカヌーに乗るため、一人でも息が合わないと調子が狂ってしまう難しさがあるので、コンビネーションが大切になります。しかし4人が一体となると、他の種目にはないスピードと迫力が出るところがとても魅力的です。

現在はオリンピックに向け、日々トレーニングをしています。ナショナルチームの練習拠点にはスプリントから長距離まで幅広い練習ができるコースがあり、新たなトレーニング施設も完成しました。充実した環境でオフシーズンにも精一杯練習しているので、シーズン本番を迎えたときに自分の体がどのように仕上がっているか楽しみです。東京オリンピックは私の集大成の舞台だと思っていますので、最高のパフォーマンスを見せたいです。チームメートと共に強い気持ちで試合に臨み、メダルの獲得を本気で狙います。山梨県の皆さんにも、実際にカヌー競技を見ていただき、カヌーの迫力あるスピード感を楽しんでほしいと思います。応援よろしくお願ひします！

東京2020オリンピック出場内定  
カヌースプリント競技

男子カヤックフォア500m 代表選手

**藤嶋 大規さん**

*Hiroki Fujishima*

1988年5月23日生まれ 富士河口湖町出身  
自衛隊所属  
2012年ロンドンオリンピック出場  
2014年アジア大会カヤックペア200m金メダル

[「チームメートと共にメダルの獲得を本気で狙います」と抱負を語る藤嶋選手]



① スマートフォンまたはタブレットに「aug!」のARアプリをダウンロード(無料) ② アプリを起動 ③ 右の写真にかざすと、自動的に動画が再生されます。



動画で見よう! 藤嶋大規さんのインタビュー

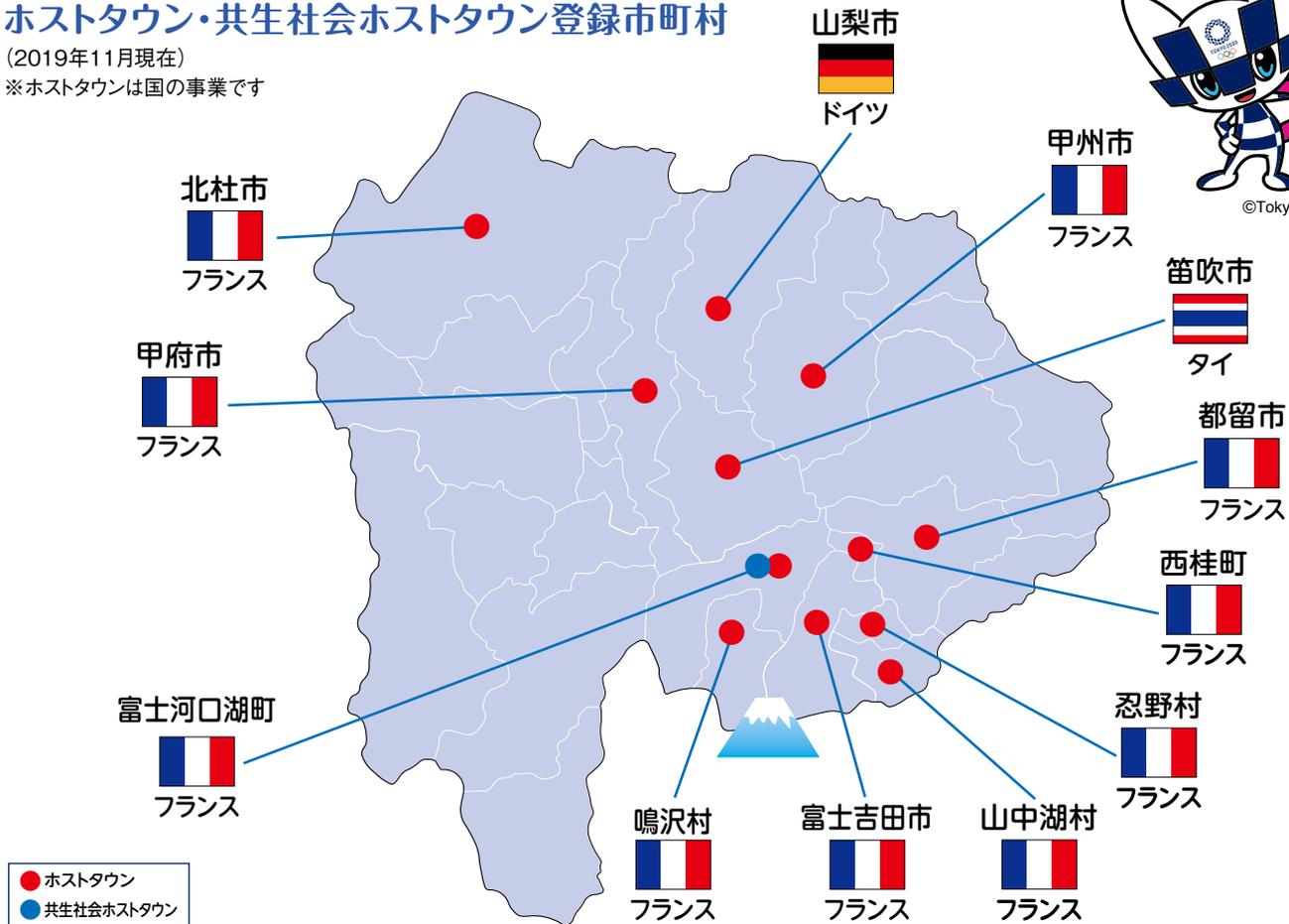
# 東京2020オリンピック・パラリンピック ホストタウン・共生社会ホストタウン登録市町村

(2019年11月現在)

※ホストタウンは国の事業です



©Tokyo 2020



「事前合宿」とは、各国・各地域の選手が任意で大会期間前の調整などを目的に行うものです。本県では2019年11月時点で、10市町村での事前合宿が決定しています。

10月11日には、事前合宿が行われる自治体やホテル関係者を対象に研修会を開催しました。研修会では県の東京オリンピック・パラリンピックフランスコーディネーターアドバイザーでリヨン第一大学のオリビエ・ニール教授が、オリパラを契機に海外へ山梨のことを発信する重要性について、公認スポーツ栄養士の月野和美砂さんが、アスリートへの食事の提供方法などについて講演し、約30人の参加者たちは熱心に聞き入っていました。

## 事前合宿受入準備を促進！研修会を開催

### 山梨を世界とつなぐ！ ホストタウンから広がる交流の輪

「ホストタウン」とは、東京2020大会の開催を契機に、事前合宿誘致などを通じ、大会参加国との間で人的・経済的・文化的な相互交流を行い、地域の活性化などに取り組む自治体のことです。ホストタウンの中で、特にパラリンピアンとの交流をきっかけに共生社会の実現に焦点を当てた取り組みを推進する自治体を「共生社会ホストタウン」といいます。

本県では2019年11月現在、ホストタウンとして12市町村、共生社会ホストタウンとして1町が登録されており、大会が始まる前からさまざまな交流を行っています。これらの取り組みを通じて、県民が大会に出場する選手や応援に訪れる方々に、山梨や日本の魅力を伝えるとともに相互理解を深め、大会後も続く息の長い関係の構築を目指していきます。



研修会で講演を聞く参加者たち

# 今後につながる文化・経済交流も視野に

## ドイツホストタウン 山梨市

山梨市は、高校生を中心にウエイトリフティング競技が行われ、インターハイや全日本選手権が開催されるなど、競技が盛んなことから、ドイツのホストタウンとなり、ウエイトリフティングの事前合宿を受け入れることになりました。ドイツのウエイトリフティング連盟があるライメン市は、ブドウの生産・ワインの醸造が主産業で本市と共通点があるので、自治体同士の交流を大会後も続けていく計画です。ドイツ人の気質は日本人と似ていて、真面目で礼儀正しく、とてもフレンドリーで、今ではSNSで直接連絡を取り合うほど、本市との友好関係が



11月17日に街の駅やまなしで開催された「ドイツフェスティバル」に参加したドイツウエイトリフティングナショナルチーム



写真撮影に気さくに応じる選手たち

多くのスポーツの基礎になり得るので、山梨のスポーツ選手にも取り入れてもらい、今後の活躍につながることも期待しています。



山梨市 地域資源開発課 課長補佐 磯村 賢一 さん

築かれています。さらにドイツのエコに対する先進的な取り組みなど、学ぶべき点も多く、交流をしていく中で多くの発見ができるよう市民に発信していきたいと思っています。

2018年には当市から、翌年にはドイツからウエイトリフティングをしている高校生をそれぞれ派遣し、地元の高校生と一緒に練習をするなど、スポーツを通じた青少年の交流がすでに始まっています。ウエイトリフティングは競技としても魅力的ですが、ウエイトトレーニングは

# 交流から共生社会を目指す

## フランス共生社会ホストタウン 富士河口湖町

富士河口湖町は、県内で初めて共生社会ホストタウンに登録され、鳴沢村と共に、フランスのパラトライアスロンの事前合宿を受け入れられます。パラリンピアンとの交流を契機に、共生社会の実現に向けたユニバーサルデザインの街づくりや、心のバリアフリーを目指して、自治体ならではの特色ある取り組みを実施しています。2018年に初めて受け入れた事前合宿の際は、パラチームの監督が小学校を訪問したり、町民が試合の応援に行ったりするなど、トライアスロンというスポーツに触れ合う機会を設けました。2回目となる2019年の受け入



富士山をバックに記念撮影をするフランスパラトリアスロンチーム

築いています。共生社会ホストタウンの取り組みをきっかけとして、スポーツや観光の振興、そして障害のある人もない人も共生していく社会の実現を推進していきたいと思っています。



富士河口湖町 政策企画課 係長 堀内 拓さん

れの際には、地元の幼稚園児や小学生を交え、来町の喜びなどを伝える歓迎セレモニーを行いました。また選手たちに富士河口湖の魅力を感じてもらえるよう観光を満喫してもらったり、フランスの慣習などを理解し、要望に応える食事の提供をしたりするなど、オリンピックが終わった後も、合宿や観光などに訪れてもらえるような関係を築いています。



地元の子どもたちとの交流会

# 「サイクル王国やまなし」を目指したレガシーの創出

自転車は移動手段だけでなく、観光やスポーツの振興、また環境の面でもメリットがあります。県では「山梨県自転車活用推進計画」を策定し、誰もが安全で快適に自転車を活用できる環境を整えるなど「サイクル王国やまなし」の実現を目指しています。東京オリンピックの自転車ロードレースが開催される山中湖村では、五輪後も続くレガシーとして自転車文化を定着させ「自転車の聖地」となることを目指し「山中湖サイクリングクラシック」を初めて開催しました。担当の一人、国際交流員のボシストムさんにお話を伺いました。

## 山中湖村を自転車の聖地に

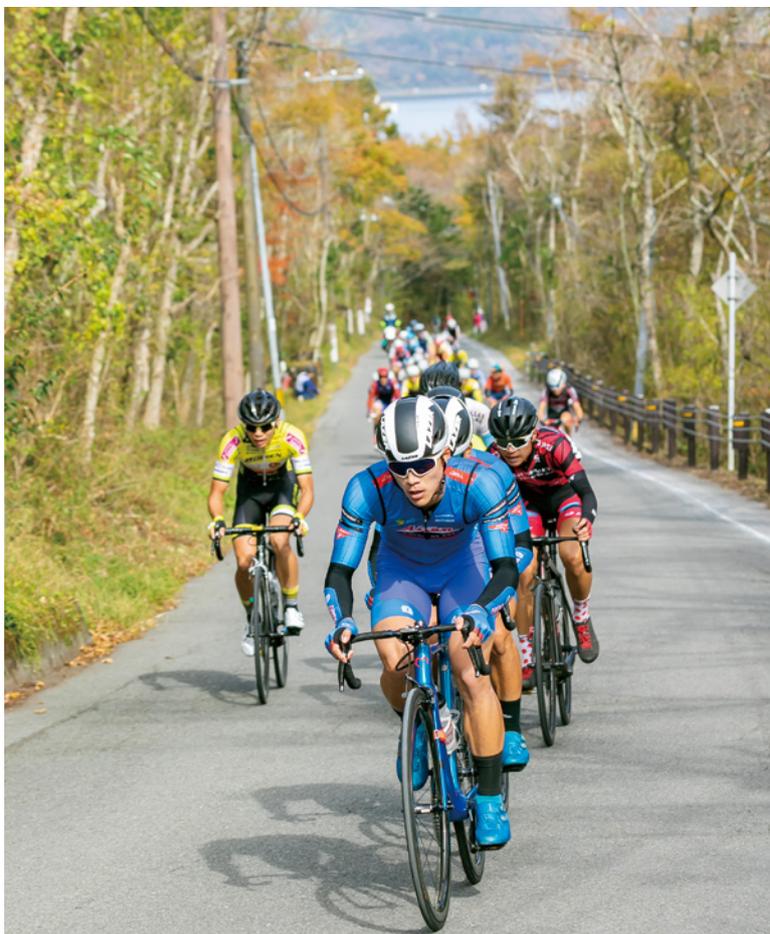
私は、自転車競技の本場フランスで生まれ、2018年7月に国際交流員として山中湖村役場に来ました。自転車ロードレースのプロ選手だった経験を生かし、行政の立場から日本でも自転車文化を発展させていきたいと思い「山中湖村を自転車の聖地へ」という企画書を役場に出了ました。東京オリンピックの自転車ロードレースの開催地となり、地域の皆さんの注目が自転車に集まっている今、競技への理解や楽しさに触れる機会や、オリンピックの後にも自転車文化が根付くきっかけを作りたいと思ったからです。そこで「山中湖サイクリングクラシック」を企画し、11月3日に第1回大会を開催しました。多くの方の協力を得て、事故もなく、とてもレベルの高い大会となりました。籠坂峠を中心とする1周6.3キロメートルを15周する、起伏に富んだコースを設定



山中湖村 観光産業課  
国際交流員 ボシストムさん

したので、観戦する場所によっていろんな楽しみ方ができたと思います。しかしまだ大会の認知度が低いと感じたので、次回からは、他のイベントと連携させたり、開催時期の変更を検討したりするなど、自転車競技を代表するイベントにしていきたいです。

山中湖村は富士山を間近に望み、多くの自然が溢れ、都心からのアクセスも良い観光地です。これからは「自転車の聖地」として、全国の見本となるような自転車文化を発信していくことにも力を入れていきたいです。



山中湖畔を背に、坂を駆け上がる選手たち。コースは上り、下り、ストレートなど変化に富んでいる。村民協力の下、大会は盛り上がりを見せた

# 最高のおもてなしを 山梨県都市ボランティア研修会開催

東京2020オリンピック自転車ロードレース観戦のため、国内外から本県を訪れる方々をおもてなしする山梨県都市ボランティア(シテイキャスト)を県実行委員会が募集しました。11月24日に、ボランティアに応募した方々を対象に開催された第1回研修会には85人が参加し、リオデジャネイロオリンピック・パラリンピックの際に、現地で日本のスポーツ・レクリエーション文化を発信する仕事に就いていた、山梨学院大学経営学部の大崎恵介専任講師による「私たちが活躍するフィールド」と題した講義が行われました。

## 踏み出す一歩が未来を変える

自分たちの県が五輪競技の開催地になることは、一生に一度あるかないかの貴重な機会です。今大会で世界中の人々を最高の「おもてなし」で歓迎するためには、今回集まったシテイキャストの皆さんは、「私は輝く」です。目標を持ってシテイキャストの活動



山梨学院大学 経営学部 専任講師 大崎 恵介さん

に取り組み、自分ができることがどのように社会に貢献できるか気付くことで、活動の輪が広がります。例えば外国語を話すことはできないけれど、絵を描くのは得意な人は、その特技を生かしてどのようにコミュニケーションを取るか考えます。その創造性や開拓性がボランティアの原則ですし、生き生きとシテイキャストが「輝く」その姿が、多くの人々に広がる大きな「輝き」となれば、皆さんの思い出と記憶に残る素晴らしい大会になると思います。そのために、シテイキャストの皆さんには思う存分楽しんでいただきたいと思います。

県民の皆さんも、ぜひ会場やオリンピック・パラリンピックに関連する場所



©Tokyo 2020



に出掛けてみてください。実際に足を運ぶことで生まれる交流や、一体感、魅力を肌で感じることもあると思います。一歩踏み出してみることで自分の世界が広がり、多様性を認めることや未来につながるきっかけになる大会になればうれしいです。

金子綱基さん・聡美さん(甲斐市)

山梨が競技開催地となるせっかくの機会なので、何かできることがあればと思いつ夫婦でボランティアに応募しました。以前中国に住んでいたことがあり、中国語が話せるのでぜひ生かしたいと思っています。そしてオリンピックでの経験を自分たちの子どもにも伝えていきたいと思っています。



松村恭子さん(大月市)

私は7年ほど前からスポーツボランティアとして活動してきました。選手の方から「ありがとう」の言葉をいただくと、逆にこちらが力をもらう場面が多く、その交流にボランティアとしてのやりがいを感じてきました。山梨にお見えになる多くの方々に、気持ちよく帰っていただくためにも、皆さんと一緒におもてなしをしたいです。



# 山梨の新たなブランド魚「富士の介」初出荷



式には多くの来賓が出席し、富士の介の初出荷を祝った

キンクサーモン（和名「マスノスケ」）とニジマスを交配し、約10年をかけて開発した本県オリジナルの養殖魚「富士の介」の初出荷式が10月2日、甲府市内で開催されました。長崎知事は、あいさつの中で「富士の介を全国に名をとどろかせるブランド魚に育て、多くの皆さんに富士の介を食べるに山梨に来てもらえるよう取り組んでいく」と意気込みを語りました。また、富士の介の応援団長を務める東京海洋大学名誉博士で画家のさかなクンも参加し、富士の介の魅力をPR。出席した市場関係者や調理師、養殖業者らが振る舞われた料理を試食し、意見交換を行うなど、今後の富士の介のブランド力向上への期待が高まる機会となりました。



**富士の介を食べに山梨に！**

清らかな名水に恵まれた本県は、全国有数の淡水魚の養殖産地であり、これまでも「甲斐サーモン」などのブランド魚を開発してきました。そして、このたび、日本で初めてキンクサーモンとニジマスの交配を成功させて誕生した「富士の介」が初出荷されました。東京2020オリンピックピック・パラリンピックが間近に迫った絶好のタイミングで飲食店や鮮魚店などへの流通が始まり、山梨の新たなブランドの一つとして期待が高まっています。



富士の介の門出を祝うテープカット



富士の介の初出荷を祝ってさかなクンが描いたイラスト



## 応援団長「さかなクン」も太鼓判

初出荷式では、富士の介の応援団長を務めるさかなクンによる記念講演が行われました。さかなクンが描いた富士の介の絵、そして楽しいトークに会場は和やかな雰囲気になりました。「山梨の素晴らしい自然環境の中、きれいな水と、安全・安心な餌で愛情たっぷりに育てられた富士の介さんは、とてもおいしく育っています。山梨の皆さんの宝がまた一つ増えましたね」と笑顔で語ったさかなクン。「普段いただくサーモンと比べ、口の中にサラサラと広がるほどよい脂と、とろけるような甘さがとても繊細で、箸が止まらないほどのおいしさ。ギョギョッとびつくり!!」と、富士の介の味わいに太鼓判を押しました。



昆布締め酢みそあえ、あぶりや軍艦のすし、県産野菜とのマリネなど、さまざまな調理法でアレンジされた富士の介の料理

### 東京海洋大学 名誉博士・客員准教授 さかなクン

東京都生まれ。幼少期から絵を描くことが大好き。魚に関する豊富な知識を持ち、講演、執筆、お魚情報の発信活動など幅広く活躍中。2010年、クニマスの生息確認に貢献した。2019年6月、富士の介の応援団長に就任。



### キングサーモンの血を引く魚は全国で唯一!

希少で食材として評価が高いキングサーモンと本県で生産量第1位のニジマスを交配し、県水産技術センターが開発した本県オリジナルの魚で、両親の良さを併せ持っています。



#### キングサーモン (父親)

- 味に定評がある
- 育てにくく養殖されていない



#### ニジマス (母親)

- 餌をよく食べ、育てやすい
- 本県で古くから養殖されている

画像提供：国立研究開発法人水産研究・教育機構北海道区水産研究所



### 安全・安心な品質

県水産技術センターが生産した卵から、加熱加工された餌で飼育し、肉色や鮮度保持の方法などの基準を満たしたものが「富士の介」として出荷されます。

# 富士の介

### おいしさの秘密

きめ細かな身質、ほどよく乗った上品な脂、豊かなうま味が特徴の魚です。アスパラギン酸、グルタミン酸などのうま味成分がニジマスの約1.6倍!肉の色も鮮やかで、舌触りも良く、食味も優れています。

# 「富士の介」のブランド化の推進に向けて



水産技術センター 忍野支所

東京海洋大学 名誉博士・客員准教授

山梨県知事

## 三浦正之 × さかなクン × 長崎幸太郎

県が約10年をかけて開発した、新ブランド魚「富士の介」の出荷がスタートし、本県の養殖業のさらなる発展が期待されています。こうした中、長崎知事、富士の介の応援団長を務めるさかなクン、富士の介の開発に携わった県水産技術センターの三浦主任研究員が、富士の介の魅力と可能性について語り合いました。

### 山梨の名水＝魔法の水が育む いとこ取りの富士の介

**知事** 富士の介初出荷式では、応援団長として盛り上げていただき、ありがとうございます。おかげさまで、富士の介の知名度を一気に上げることができました。さかなクンには、西湖でのクニマスの発見にも貢献していただき、本県との浅からぬ縁を感じています。

**さかなクン** ありがとうございます。感激です！

**知事** 山梨では古くからニジマスなどの淡水魚の養殖が盛んで、それが今回の富士の介の開発にもつながりました。さかなクンは本県の養殖業についてのどのような印象をお持ちですか？

**さかなクン** 小さい頃、家族と山梨に旅行にきました。幼心にも山梨の自然の素晴らしさは強く印象に残りました。豊かな自然ときれいな水に恵まれた山



梨だからこそ、素晴らしい淡水魚が育まれるんですね。

**知事** 全国で唯一キングサーモンの血を引く富士の介のような品質の高い魚を本県で養殖できるのは、豊富で清らかな水資源があるからです。

**さかなクン** まさに魔法の水ですね。

**三浦** その水を使って養殖される最高の魚を開発したい、そういう思いで私たちは研究を重ねてきました。富士の介の開発に当たっては「サケの王様」といわ



**知事** さかなクンには、これまで何度か富士の介を見ていただき、試食もしていただきましたが、富士の介についての率直な感想をお聞かせください。

**さかなクン** はい！初めて富士の介さんを送っていただいたときは、姿もギョ立派でクニマスを見たときと同じくらい感激しました。すぐにじっくりと

**とろけるような甘さ 科学的に証明された味わい**

**さかなクン** 富士の介さんはキングサーモンさんとニジマスさんの「いいとこ取り」なのでギョさいますね！

れ、味に定評があるキングサーモンが欠かせないと考えました。しかしキングサーモンは飼育が非常に難しいという課題があります。そこで育てやすいニジマスと掛け合わせることにしたので。その結果、キングサーモンのおいしさを受け継ぎ、見た目も美しく養殖に適した富士の介の開発に成功することができました。

**知事** 富士の介は、開発担当者や養殖に携わる方々など、みんなが情熱を注いで誕生させた魚です。おいしい食べ物は、地域全体の魅力にもつながります。これから富士の介のブランド化を推進し、たくさんの方に富士の

**富士の介で 山梨の魅力を広めたい**

**三浦** 富士の介は、上品な脂の乗りが特徴なのですが、科学的な分析によつてうま味成分が多いことが分かっていますし、普通のサーモンとは違った味わいです。臭みがないので、魚が苦手な方にも食べていただけたらと思います。

見ながら絵を描き、それから、お刺し身にしていただきました。とろけるような甘さがあり、とつてもおいしくて、これまでにないすギョいお魚だと感じました。



「一口食べれば、きっと誰もが感激する富士の介さんのおいしさを、皆さんに知っていただきたい」と語るさかなクンとがっちり握手を交わす長崎知事

介を食べべに山梨を訪れていただきたいと思つています。

**さかなクン** サーマンは世界中で愛され栄養もたつぷり!! 和洋中どんなお料理にも合うお魚です。来たる東京オリンピックは、富士の介さんを世界中の皆さまにも知っていただく素晴らしい貴重なギョ機会ですね!!

**知事** オリンピックを迎える絶好のタイミングで出荷が始まった富士の介は、みんなから祝福されている特別な魚といえるかもしれませんね。

**さかなクン** 先日、北海道で長年サケのギョ研究を行っている「サケのふるさ

①スマートフォンまたはタブレットに「aug!」のARアプリをダウンロード(無料)②アプリを起動③右の写真にかざすと、自動的に動画が再生されます。

aug!(オーブ)



**動画で見てみよう! さかなクンのインタビュー**

と千歳水族館」の菊池基弘館長さまに富士の介さんのお話をしたところ、大変驚かれて、ぜひ見てみたいとおっしゃっていました。

**知事** それはうれしいです。これをきっかけに交流ができればと思います。本県では今後も富士の介のブランド化の推進に取り組んでまいりますので、さかなクンには引き続き、応援団長としてご支援をお願いします。

# 県民一人ひとりの思いや願いを受け止めて「前」へ 県民対話 知事と語る やまなしづくり

この対話は、長崎知事が目指す「パートナーシップで進める県政」の一環です。知事が直接、幅広い層の県民の皆さんと意見交換し、それぞれが置かれている状況について理解を深めることによって、県としての課題を把握し、その解決に向けた取り組みを前進させていくことを目的に開催するものです。



県立やまびこ支援学校で行われた「知事と語る やまなしづくり」

## パートナーシップで進める県政のために

「知事と語る やまなしづくり」で

は、その都度設定するテーマに沿って、

意見交換を行います。県と県民は、

県が掲げる「県民一人ひとりが豊か

さを実感できるやまなし」実現のため

のパートナーであり、対話では、知

事が参加者一人ひとりの声をしっかりと

と聞いています。

9月には「家庭での養育が困難な

子どもの未来につながる支援」、11月

には「障害児(者)と家族が安心して

生活できる地域社会を目指して」

障害児(者)を取り巻く現状と課題

」をテーマに開催しました。

## 障害のある方とその家族が 安心して生活できる地域をつくりたい

11月22日には、大月市の県立やまび

こ支援学校に知事が出向き、やまびこ

支援学校PTAの皆さんと直接向き

合い、日ごろの生活の中で抱える課題

などについて意見交換を行いました。

参加者からは「県東部地域に障害

児(者)が短期入所できる施設を増

設してほしい」「子どもたちの可能性

を伸ばす教育の場である、やまびこ

支援学校を卒業した後、その可能性

を生かす場がない。就労支援を行う

事業所を増設してほしい」「就学前に



参加者の意見に答える長崎知事

受けられる各種サービスなどの情報が保護者に入りにくいので、情報提供の仕組みを考えてほしい」「災害が長期化した場合でも、安心して滞在



## 当事者としての率直な思いを伝える 貴重な時間となりました

「知事と直接お話ができる機会をいただき、ありがたいと思っています。行政もさまざまな取り組みをしてくれていると思いますが、これまで当事者の思いは届きにくい部分があると感じていました。簡単には解決しない課題もありますが、今日、知事に私たちの思いを直接聞いていただいたことがきっかけとなり、共生社会の実現に向けて、少しずつでも前に進むことを願っています」と、参加した皆さんは感想を話してくださいました。

「これらに対し知事は「短期入所について、まずは平成30年度から始まった高齢者施設を利用した共生型サービスの活用を促進していきたい。さらに県内だけでなく八王子や相模原などにある県外の近隣施設との連携も検討していく」就労支援を行う事業所の増設に向けて、事業者には最大限の支援を行う。また、障害者福祉に携わ

る人材の育成にも取り組み、市町村などの連携も図りながら、サービスの向上を目指し、障害のある人が地域の中で安心して生活できる環境づくりを進める」「未就学児を持つ保護者への情報提供について、利用者目線に立った仕組みづくりを進めるとともに、避難場所の確保も早期に実現できるように、県として最大限努力する」など、県東部地域における障害児（者）へのサポート体制のさらなる強化を進める強い決意を語り、この対話は共生社会の実現に向けた確実な一歩となりました。

## 山梨県オレンジリボンキャンペーン

## 子どもが健やかに成長できる社会を目指して



オレンジリボンをクリスマスツリーに飾る親子

全ての子どもは、いかなる差別も受けず、幸福、愛情、そして理解のある雰囲気の中で成長すべきです。しかし、残念ながら近年は全国的に児童虐待に関する相談件数が増加する傾向にあります。この状況を受け、県では児童虐待防止のためのさまざまな取り組みを行っています。特に、11月の「児童虐待防止推進月間」には、多くの県民の方々に関心をもってもらうため、集中的に啓発活動を実施しています。

## 虐待から子どもを守る

虐待をはじめとするさまざまな事情により、家庭で暮らせない子どもは、一時的に家庭に代わる環境の下で養育される必要があります。このため県では「やまなし家庭的養護推進プラン」を策定し、家族の一員として子どもを迎え入れて養育する里親制度の推進や、子どもたちが生活を共にしながら養育を受ける児童養護施設を小規模化・地域分散化するなどし、子どもと養育者の信頼関係をつくりやすくする環境整備に努めてきました。また国が「新しい社会的養育ビジョン」を掲げたことを受け、県でも、地域や社会が、虐待を受けている子どもなどの要保護児童はもちろん、全ての子どもとその家庭を支えることができるよう、社会全体で養育を推進する新しい計画の策定を進めています。

子ども福祉課  
清水 愛 主任

児童虐待の相談件数が年々増加している中、要保護児童の多くは、里親への委託ではなく、児童養護施設などに入所しています。施設入所児童の割合は、全国では約4万5千人の要保護児童のうち約9割、本県では約300人の要保護児童のうち約7割となっています。これは、里親制度がまだ日本では根付いていないという課題があるためです。今後は、里親制度への理解を進めるためにも、家庭的な環境での養育を優先する機運づくりが必要です。

11月には「児童虐待防止推進月間」に合わせ、集客施設において児童虐待防止のPR活動やテレビコマーシャルの放

# 児童虐待防止推進月間 山梨県オレンジリボンキャンペーン

一人でも多くの県民の皆さんに関心を持っていただけるよう、児童虐待防止推進月間の初日に当たる11月1日に、イオンモール甲府昭和でオープニングセレモニーが開催されました。当日は「二日オレンジリボン隊」に任命された県内各地で活動するゆるキャラたちが大集合し、チラシの配布や児童虐待防止のための啓発活動を行いました。



一日オレンジリボン隊として集結したゆるキャラたち



た。虐待防止のメッセージが込められたオレンジリボンを作成し、親子でクリスマスツリーに飾るなど、楽しみながら子どもたちの未来を考える機会にもなりました。会場では里親制度について知ることができるブースや育児に関する相談ができる産前産後ケアセンターを紹介するブースも設けられ、来場者からは「最近、虐待のニュースを見守る必要があるので、地域で子どもを見守る必要がありますね」などの声が聞かれました。

映、虐待が子どもに及ぼす影響をテーマとした講演会などを行いました。今後も児童虐待の未然防止に努めるとともに、家庭で暮らせなくなってしまう子どもたちの支援に取り組んでいきます。

## 知事と語る「子どもの未来につながる支援」

9月には「家庭での養育が困難な子どもの未来につながる支援」をテーマに、児童養護施設や里親の皆さんが知事と直接意見交換を行いました。参加者からは、子どもの課題を専門に扱う「子ども家庭総合支援拠点」の市町村への設置、養護施設退所後も継続的に自立を支援する制度や、包括的に里親家庭を支援する機関の必要性などについて意見が出されました。これに対して



県庁で行われた「知事と語るやまなしづくり」(9月)

まず知事は、子育てや子どもに関する問題に一元的に取り組むため、今年度新設した「子育て支援局」について説明し、指摘を受けたさまざまな課題は、解決に向けてできることから着手し、子どもが

健やかに成長していける山梨づくりを目指したいと、強い決意を語りました。



児童虐待防止推進月間に合わせオレンジ色にライトアップされた県庁別館

### 「児童虐待かも」と思ったらすぐにお電話ください

「いちはやく」の相談が大切です。児童相談所虐待対応ダイヤルは189(いちはやく)！児童虐待の通報や相談を24時間受け付け、通話料は無料です。189番にかけるとお近くの児童相談所につながります。児童虐待の早期発見のため、お住まいの市町村窓口、または「189」をご活用ください。



市町村窓口はこちら

いち はやく  
189

児童虐待に関する専用ダイヤルです

# 台風第19号への対応、今後の対応力強化に向けて

大型で非常に強い勢力の台風第19号の接近により、最大級の警戒を呼び掛ける大雨特別警報が県内の20市町村で初めて発表されました。県では、県内各地に記録的な大雨と強風をもたらしたこの台風への対応を検証し、次なる災害発生に備えていきます。

## 早期に体制を確立し、県民に呼び掛け

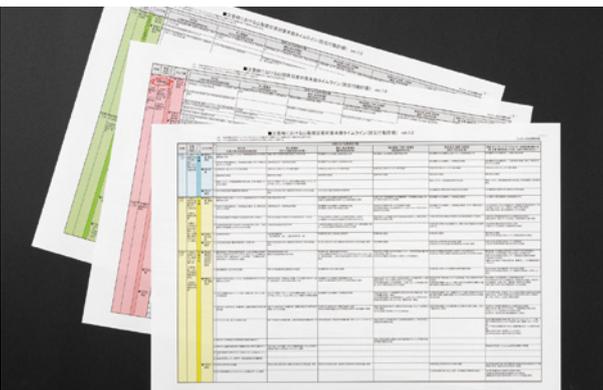
**台** 風第19号の接近に伴い、県では、上陸「前」の準備や点検、台風通過「中」の体制確立、さらに通過「後」の復旧対策の各段階において災害対策本部の各部が取るべき行動を示した「防災タイムライン」に基づき、上陸の見通しとなった早い段階から対応に当たりました。最接近前日の10月11日には、交通途絶などの恐れがある6町村に現地連絡員として職員を派遣し、被災状況や課題の把握などに努めました。同日の記者会見では、知事が県民に対し、不要不急の外出を控え、厳重な警戒をし早期の避難を心掛けるよう呼び掛けました。最接近した10月12日には、平成26年2月の豪雪災害以来となる災害対策本部を上陸前から設置。知事を本部長とした災害対策本部には、県職員約1200人のほか陸上自衛隊、甲府地方気象台、国土交通省、林野庁などの職員も参加し、市町村の被災状況把握や警戒に努めたほか、県民からの相談などに終日対応しました。

部局長ら約40人による災害対策本部員会議は2日間計4回開催され、甲府地方気象台による台風の進路や影響の説明、各部局長などからの災害対応状況の報告を受けた知事は、警戒、復旧に当たつての国や市町村、医療機関との連携、県民への適切な情報提供などを指示しました。

また、県ホームページやツイッターでも、知事による県民への呼び掛けや、災害関連情報を随時発信しました。



部局長らを集めて開催した災害対策本部員会議



災害対策本部の各部が取るべき行動を示した「防災タイムライン」



会議で本部員に指示を出す長崎知事

## 最速・最短での災害復旧を目指して

### 東

日本に甚大な被害をもたらした台風第19号は、県内にも深い爪痕を残しました。土砂崩落による中央自動車道の通行止め、法雲寺橋の損壊による国道20号の通行止め、JR中央本線の四方津駅～梁川駅での土砂流入による運転見合わせなどは県民生活の大きな支障となりました。こうした中、通過後の10月13日、知事は直接、市町村長に連絡するとともに法雲寺橋を視察するなどし、自ら甚大な被災状況の把握に努めました。



10月13日、損壊した法雲寺橋に駆け付け、説明を受ける長崎知事

設置し、孤立集落の解消、仮設道路の設置などに迅速に着手しました。一方で首都圏の大学などに宿泊して通学することを余儀なくされた学生に対する宿泊費の助成や、住宅が損壊し、居住が困難になった被災者に家賃や敷金を免除した上で県営住宅を提供する支援策なども打ち出しました。

さらに、10月17日には内閣府や国土交通省、JR東日本などを訪問し、中央自動車道や国道20号、JR中央本線の早期復旧や県が行う災害復旧事業に対する支援などを要請しました。

12月定例県議会で成立した補正予算には、台風第19号で損壊した各種インフラの復旧のための経費をはじめ、被災した中小企業や農業者が行う施設の再建、修繕に対する助成、県内宿泊を伴う旅行商品の割引による観光需要喚起策への助成に要する経費などを計上しており、今後県民生活や県内経済の回復に全力で取り組んでいきます。



平将明内閣府副大臣へ被災状況を説明

## 今後の災害対応力強化のために

### 今

回の台風第19号で県内に目立った人的被害がなかったことは幸いでしたが、県では災害対応について直ちに検証を開始しました。県庁各部署をはじめ、市町村や防災関係機関などにアンケートを実施するとともに、意見聴取を行って課題を洗い出し、さらなる体制の強化に努めていきます。

大規模災害が発生した際には、多く



県臨床検査技師会、関東甲信越臨床検査薬卸連合会と協定を締結

の被災者が長期間の避難所生活を余儀なくされることが想定され、エコノミークラス症候群の発症やインフルエンザの流行防止など被災者の健康管理に留意することが重要です。このため県では、臨床検査を行う人材の確保や臨床検査薬などの供給体制の構築を目指し、県臨床検査技師会、関東甲信越臨床検査薬卸連合会と協定を締結しました。今後、協定に基づき避難所に派遣される臨床検査技師が、補給された機器や検査キットを使用して迅速に避難者の健康管理を行うことが期待されます。都道府県が地元の臨床検査技師会とこのような目的で協定を締結するのは全国初のことです。

県では今後も、大規模災害に備え、被害を可能な限り未然に防ぐとともに、発生した被害に早期に対応できるように、注意深く、丁寧なさまざまな取り組みを進めていきます。県民の皆さんも、災害への意識を常に持ち、適切な避難行動などについて、改めて確認を行ってください。

# 山梨県の職員数・給与のあらまし

平

成31年4月1日現在、およそ1万3千人の職員が県民生活と密接に関わる仕事に携わっています。福祉・保健、環境、産業振興、基盤整備などの一般行政部門をはじめ、県立高校や市町村立小・中学校、警察など、県のさまざまな分野で働く職員の数や給与の状況をお知らせします。

## 職員数の状況

行政改革大綱に基づき、平成23年4月1日までに組織や事務・事業の見直しなどを行い、職員数の削減に取り組みました。平成31年4月1日現在、総職員数は前年比96人減の1万2863人となっています。

## 給与などの状況

職員の給与は、県内の民間企業における従業員の給与、生計費、国や他の都道府県における職員の給与などを調査・研究した人事委員会からの報告と勧告を踏まえ、県議会の審議を経て、条例で定められています。

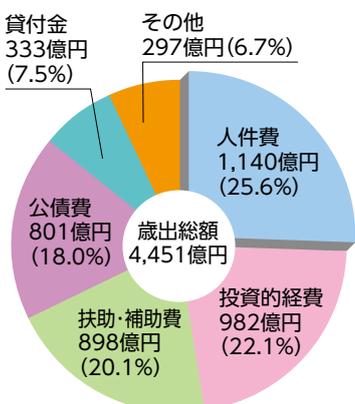
## ●年度別部門別職員数

(各年4月1日現在) (単位:人)

区分	年度	H27	H28	H29	H30	H31
総職員数		13,125	13,043	12,962	12,959	12,863
一般行政		3,054	3,037	3,019	3,029	3,020
教育		8,019	7,939	7,869	7,838	7,759
警察		1,945	1,960	1,966	1,976	1,969
公営企業等		107	107	108	116	115

## ●歳出に占める人件費の状況

(平成30年度普通会計決算)



平成30年4月1日現在の一般行政職の給料は、国家公務員の水準を100とした場合、100.3となっていて47都道府県中20位です。平成30年度普通会計決算における人件費の歳出額は1140億円で歳出全体の25.6%となっています。

## 先輩職員が語る! 山梨県職員採用ガイダンス

職種別に先輩職員が業務内容や仕事のやりがいなどを説明します。

	東京	山梨
日時	令和2年3月8日(日) 午後1時30分～4時30分	令和2年3月10日(火) 午後1時30分～4時30分
会場	新宿NSビル3階 3-J-3-K会議室(新宿区)	県立図書館1階 イベントスペース(甲府市)
対象	県職員として働くことを希望または検討している方(本人に限ります)	
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和2年度職員採用試験日程・試験制度などの説明</li> <li>新採用職員・中堅職員・女性職員による職場体験談</li> <li>専門職職員による職種別業務説明(行政以外)</li> </ul>	
定員	行政:80名 行政以外:40名	行政:120名 行政以外:80名
申込受付	令和2年2月3日(月)～2月28日(金)	
申込方法	山梨県電子申請サービス『やまなしくらしねっと』から	

※詳細は、職員採用サイトをご覧ください!

【問い合わせ先】

人事委員会事務局 TEL 055-223-1821 FAX 055-223-1819

山梨 採用 検索

## ●平均給料月額および平均年齢の状況

(平成31年4月1日現在)

一般行政職	平均年齢43.2歳	336,380円
小・中学校教育職	平均年齢43.5歳	363,091円
高等学校教育職	平均年齢45.8歳	385,926円
警察職	平均年齢36.9歳	315,487円

## ●初任給の状況

(平成31年4月1日現在)

区分	給料
一般行政職	大学卒 188,604円
	高校卒 154,147円
小・中学校教育職	210,668円
高等学校教育職	210,668円
警察職	大学卒 215,705円
	高校卒 183,062円

## ●特別職の給料月額などの状況

(平成31年4月1日現在)

区分	給料・報酬
知事	1,250,000円
副知事	960,000円
議長	910,000円
副議長	820,000円
議員	770,000円

【問い合わせ先】

人事課・職員数については TEL 055-223-1372 FAX 055-223-1379  
給与については TEL 055-223-1373

## ワインをはじめとした山梨の魅力を発信 本県ゆかりの著名人2名をワイン県副知事に任命

**山** 梨といえばワインという強いイメージを活用し、国内外へ山梨を印象づけることを目的に、県では、令和元年8月「ワイン県」を宣言しました。

宣言を機に、ワインをはじめとした本県の魅力をさらに広く発信するため、10月、本県出身の作家で、ワイン愛好家としても知られる林真理子さんをワイン県副知事に任命しました。県庁での就任式を終えた林さんは「多くの有名人を山梨に連れてきて、ワイナリーなどを見せたい。故郷のために一生懸命頑張る」と意気込みを語りました。



ワイン県副知事に就任した林真理子さん

また、11月には日本を代表するソムリエとして日本ワインブームをけん引している、日本ソムリエ協会会長の田崎真也さんを2人目のワイン県副知事に任命しました。東京都内で行われた就任式で田崎さんは「山梨にはワインをはじめとした地域資源が数多くある。ワインだけにとどまらず、さまざまな魅力をたくさんの人に発信したい」とあいさつしました。

県では、今後も、ワインをきっかけに、山梨を訪れる観光客が増え、山梨の食や伝統工芸などの魅力を発見していただけるような取り組みを広く展開していきます。



ワイン県副知事に就任した田崎真也さん

## 県産木材の普及促進を目指す

**山** 梨県は、県土の約8割を森林が占める全国有数の森林県です。

この豊かな森林資源のさらなる利用促進を図るため、県や林業・木材産業、建築業、商工関係団体など10団体で構成し、長崎知事を会長とする「Yamashashi・ウッド・チェンジ・ネットワーク」を設立しました。

設立総会では、「チェンジ」をキーワードに、燃えやすく、耐震性に劣るといった木造のイメージを変え、民間企業の建築物に県産木材を取り入れてもらうための取り組みなどについて協議しました。

再生可能な資源である木材を積極的に活用することで、地域経済の活性化、そして、環境や経済などが好循環する持続可能な社会の実現が期待されます。



恩賜林記念館において開催した設立総会

## 陸上養殖で 内水面漁業に新たな活力を

**県** は、西桂町内で新たに陸上養殖事業に参入するNESIC陸上養殖株式会社、西桂町の4者間で地域活性化に向けた協定を締結しました。

NESIC陸上養殖株式会社は、今後、西桂町内に陸上養殖施設を建設し、富士北麓の良質な地下水を利用して、トラウトサーモンの養殖を手掛けることになっており、これを機に、新たな地域産業の振興や雇用の拡大など、地域の活性化が見込まれます。

県では、今後も、県内の良質な水などを生かした内水面漁業のさらなる発展を目指します。



締結式で手を取り合う長崎知事ら



[シュン!]

# 瞬

やまなしの

vol.  
23

オニテナガエビの養殖に成功！  
特産品に育て観光振興につなげたい

株式会社陸作 代表取締役  
**今村 秀樹さん**



「甲府市内のすし店で試食会をしたところ、伊勢エビよりおいしいと大絶賛された」とうれしそうに話す今村さん(上)

オニテナガエビを漬けにしたにぎりずし(右)



株式会社陸作

甲府市長松寺町6-7 日信ビル3階 TEL 055-288-0956



温泉を利用したいけすで、養殖するオニテナガエビに餌をやる今村さん。2020年には甲斐市に専用の養殖場を建設する計画



養殖に成功したオニテナガエビの俗称は「アジアブルーロブスター」。淡水のエビで、プリっとした食感と甘く深いクリーミーな味わいが魅力

## 生き物好きが高じて始めたオニテナガエビの養殖への挑戦

子どもの頃から生き物が好きで、ウーパールーパーやベツノガエルを繁殖させたり、タニシを養殖したりして、楽しんできたという今村秀樹さん。甲府市で人材派遣業を営む傍ら、好きな生き物に関わる仕事をしてみたい、誰もやっていない分野に挑戦し日本一になりたいと模索する中、インターネットで偶然目にしたのが、エビ釣りの写真でした。

「見た瞬間、これだ！と思いました。調べてみると、東南アジアではオニテナガエビを釣って、その場で食べる釣り堀は24時間営業の施設もあるほどポピュラーで、これを山梨でやろうと考えました」。まずはオニテナガエビを手に入れようと日本中くまなく探し、オニテナガエビの養殖をしている施設を青森に見つけました。

今村さんは、早速、現地を訪ね、1週間いわたつて作業を手伝いながら、熱い思いを訴えました。「そのかいがあつて、帰りに抱卵しているメスを2匹分けてもらえました。とても貴重な親エビなので、大切に持ち帰り、すぐにふ化させたのですが、翌日には全滅してしまつたんです。後に分かつたのですが、エビは、微小なプランクトンとして生まれ、11回変態してエビの姿になります。とてもデリケートで、ささいな環境の変化で死んでしまうので、育て

るのは非常に難しいのです。この失敗によつて私の心に火が付き、本格的に取り組むことになりました」

## 紆余曲折の末、養殖に成功 今後は県の特産品に育てたい

「オニテナガエビの養殖法は、確立していません。そこで、自宅の一室に水槽を並べて研究室にしました。さまざまな方法を試しては失敗するの繰り返しが続く、餌や水などの管理に追われ寝る間もなく、心が折れそうになつたこともあります。そんな苦労の中で、約2万個の卵から1匹だけ成体に育つたんです。あの時は、本当にうれしかったですね」

その後も、水質環境を安定させる循環ろ過器を開発したり、共食いを防ぐ器具を考案したりと創意工夫を重ねました。そして今では、温度変化を一定に保つよう温泉を利用したいけすなどで約1万匹を養殖するまでになりました。

「富士登山でいえばようやく8合目まで来た感じですね。今後はオニテナガエビを『陸作信玄えび』という商標でブランド化して、県の特産品として知名度を高めていきたいし、釣り堀を作つてみんなに楽しんでもらいたい。さらには、今回開発したエビの養殖方法をマニュアル化し、ゆくゆくは世界の貧しい国の人に伝授して、なりわいとしてもらえたらと思つているんです」と壮大な目標を語つてくれました。

## ジュエリーミュージアム

甲府市丸の内1-6-1 山梨県防災新館1階やまなしプラザ内  
TEL 055-223-1570 FAX 055-223-1572

### 企画展 クラフツマンの表現

本展では、水晶彫刻の技術に焦点を当て、ジュエリーの中に水晶彫刻の技術の一端をうかがうことのできる作品を紹介します。

宝飾産業において宝石の研磨と彫刻は、それぞれが独立した領域です。しかし、山梨にはその境界を軽やかに飛び越えてジュエリーを制作するクラフツマン(職人)が存在します。宝石を加工する高度な技術を駆使し、新たな領域を開拓するクラフツマンの新鮮な仕事をご覧ください。

開催期間 / ~3月2日(月)

観覧料 / 無料



リング(Crystal Dome)  
デザイン&制作: 貴石彫刻オオヨリ  
大寄智彦



リング(source)  
デザイン&制作: 詫間宝石彫刻  
詫間康二

## 県立考古博物館

甲府市下曾根町923  
TEL 055-266-3881  
FAX 055-266-3882

### 第17回 わたしたちの研究室・研究成果展示会

小中学生が歴史や考古学について学び、研究した成果を一堂に展示します。子どもたちの自由な発想から生まれた貴重な研究成果の数々を、ぜひご覧ください。



第16回展示会の様子

開催期間 / 2月8日(土)~3月8日(日)

観覧料 / 無料

## 富士山世界遺産センター

富士河口湖町船津6663-1  
TEL 0555-72-2314  
FAX 0555-72-2337

### 企画展 溶岩洞穴をめぐる信仰

富士山麓に点在する溶岩洞穴の中には、船津胎内樹型(富士河口湖町)のように、信仰の対象となったものが少なくありません。本展では、溶岩洞穴をめぐる展開した信仰について紹介します。



船津胎内樹型入口に建立された無戸室浅間神社

開催期間 / 1月1日(水・祝)~2月24日(月・振休)

観覧料 / 無料

## 県立科学館

甲府市愛宕町358-1  
TEL 055-254-8151  
FAX 055-240-0168

### 山梨プラネタリウムフェスティバル 2020

毎年恒例のプラネタリウムフェスティバルを開催します。「星の王子さま」「銀河鉄道の夜」など10番組(各日5番組)を、各日1回分の観覧料でお得に楽しめます。



©2014 D&D pictures, Inc.  
「星の王子さま」

開催日 / 2月8日(土)、9日(日)

観覧料 / 大人310円、小・中学生、高校生120円(入館料別途)  
幼児120円(入館無料)

※8日(土)は、高校生以下入館無料

## 富士山科学研究所

富士吉田市上吉田字剣丸尾 5597-1  
TEL 0555-72-6206  
FAX 0555-72-6183

### 富士山自然ガイド スキルアップセミナー

富士山とその周辺の自然ガイドに役立つ、基礎的な知見や新たな研究成果を専門家が紹介するセミナーです。1月は「冬の植物」、2月は「雪崩、雪代」、3月は「富士信仰」がテーマです。



平成30年度のスキルアップセミナーの様子

開催日時 / 1月11日(土)、2月8日(土)、3月14日(土)  
午後1時30分~4時

参加料 / 無料

ここから下の段は広告です。広告の内容については、広告主にお問い合わせください。

## 県立美術館

甲府市貢川1-4-27  
TEL 055-228-3322 FAX 055-228-3324

### コレクション企画展 野口コレクションの精華

平成30年末、野口忠蔵氏から437点に上る絵画や書跡が山梨県へ寄贈されました。これらは、江戸時代以来、甲府で酒造業「十一屋」を営み繁栄した野口家に代々継がれた貴重な美術品です。野口家へ嫁いだ近代を代表する女性画家・野口小蘋の秀作なども含まれています。本展では、寄贈を記念して、これらの中からえりすぐりの作品が一堂に会します。

開催期間／2月8日(土)～3月8日(日)  
観覧料／一般520円 大学生220円  
※各種割引などあり。詳しくはお問い合わせください。



野口小蘋「富貴百齡図」  
1892(明治25)年



富岡鉄斎「十六羅漢図」  
1896(明治29)年

## 県立博物館

笛吹市御坂町成田1501-1  
TEL 055-261-2631 FAX 055-261-2632

### シンボル展 甲州屋忠右衛門の冒険 —ミナト・横浜を目指した商人たち—

甲州屋(篠原)忠右衛門は、1859(安政6)年の横浜開港早々に甲州屋を出店して、甲州産の生糸などを外国人に売り込み大きな利益を得た人物です。その横浜開港から160周年の節目を迎え、本展では忠右衛門の成功の基盤となった、旺盛な行動力やしたたかな情報戦略などを、さまざまな資料から紹介します。国内外で活躍する甲州人の先駆的な存在となった忠右衛門の冒険を、ぜひお楽しみください。

開催期間／～2月24日(月・振休)  
観覧料／一般520円 大学生220円  
※各種割引などあり。詳しくはお問い合わせください。



神名川横浜新開港図  
(山梨県立博物館蔵)



甲州屋の印鑑  
(山梨県立博物館蔵)

## 県立文学館

甲府市貢川1-5-35  
TEL 055-235-8080 FAX 055-226-9032

### 新収蔵品展 作家のエピソード

この1年間に当館が新たに収蔵した、高浜虚子の句幅、芥川龍之介の句稿、飯田蛇笏の句短冊、井伏鱒二の手紙、太宰治の原稿など約70点の資料を展示します。作品や手紙などが書かれた背景にあるさまざまなエピソードと、作家の個性豊かな筆跡をお楽しみください。

開催期間／1月25日(土)～3月22日(日)  
観覧料／無料



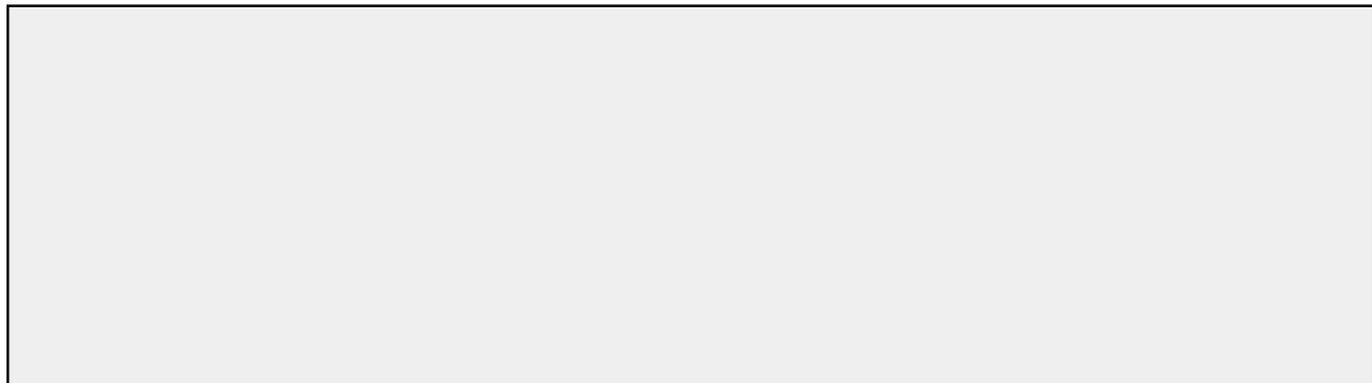
芥川龍之介  
句稿「赤百合の芯黒む暑さ極りぬ」ほか  
(山梨県立文学館蔵)



太宰治  
「あとがき」原稿(『バンドラの匣』再版収録)  
(山梨県立文学館蔵)



ここから下の段は広告です。広告の内容については、広告主にお問い合わせください。



# ふれあい 読者プレゼント

## 甲州地どりスモークチキン むね・ささみセット

(「甲州地どり市場」提供)

抽選で**3名**の方に!



「美味しい甲斐開発プロジェクト」  
については、ホームページを  
ご覧ください。

美味しい甲斐

検索



秋号のアンケートに寄せられたご意見の一部を紹介!

### 「山梨のフルーツ」あなたのイチオシとその理由は?

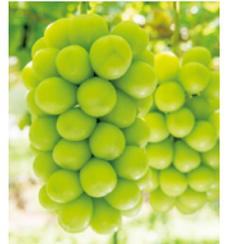
#### 多かったのは、モモとブドウ

モモ。特に甘くて硬いモモは、産地ならではの特別な  
ぜいたく(甲府市・50代女性)。シャインマスカット。種が  
なく、皮ごと食べても甘くておいしいので、2歳の娘も  
大好物(甲斐市・30代男性)。甲州ブドウ。近年はワイン  
醸造用としても栽培されるが、小さい頃から食べ続け  
ている晩秋の味覚(笛吹市・60代女性)。



#### その他

スモモ。貴陽は果肉の甘みと皮の酸味が絶妙(忍野村・  
50代男性)。柿。特に干し柿が大好き(韮崎市・60代女  
性)。イチゴ。モモやブドウのように生産量は多くないが、  
味は他県のものに負けていない(甲府市・50代女性)。  
サクランボ。毎年サクランボ狩りに行くのが楽しみ(甲斐  
市・60代女性)。



#### アンケート

- 問1:今号の中で最も関心を持った内容は?  
問2:オリンピック・パラリンピックをきっかけに山梨を盛り上げるためには?  
※頂いたご意見の一部は、春号で紹介させていただきます。

#### 応募方法

アンケートの回答と、次の①～⑥をご記入の上、はがき、電子メール、  
ファクスのいずれかの方法でご応募ください。

- ①郵便番号 ②住所 ③氏名 ④年齢・性別 ⑤電話番号 ⑥メールアドレス  
(ある方)

#### 応募先

山梨県広聴広報課「ふれあい読者プレゼント」係  
はがき:〒400-8501 甲府市丸の内1-6-1  
電子メール:koucho@pref.yamanashi.lg.jp  
(件名に「ふれあいプレゼント」と入力)

ファクス:055-223-1525

#### 締め切り

1月31日(金)(当日消印有効)

商品の発送をもって、当選発表に代えさせていただきます。  
個人情報は商品の発送のほか、県からのお知らせなどのために、使用させていただく  
ことがあります。

県政情報  
発信中!



ホームページ



Facebook



Twitter



広報誌



広報番組

ここから下の段は広告です。広告の内容については、広告主にお問い合わせください。